

さんむ景観通信 第3号

平成25年7月発行

山武市では昨年度から、山武市の景観づくりについて自由にワイワイと話し合ってもらおう場として“景観ワイワイ広場”を開催しています。今回は20名の皆さんと「山武市は将来こんな景観になったらいいな」をテーマに意見交換をしました！

第3回景観ワイワイ広場の概要

【テーマ】 「山武市の10年後の景観」を考えよう！

【日時】 平成25年6月23日（日）14時～17時

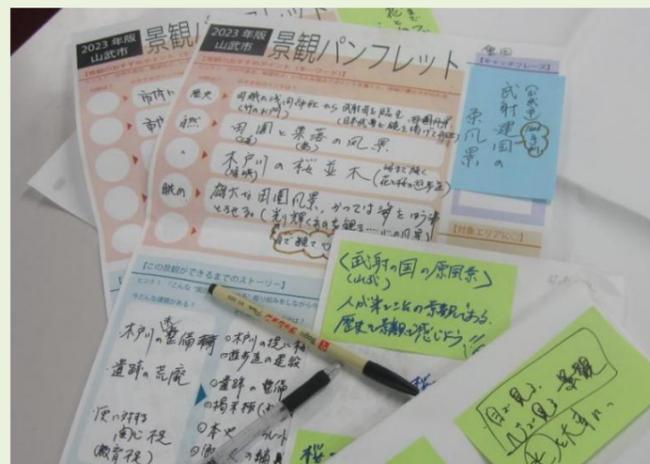
【場所】 山武市役所3階大会議室

【開催内容】 ■前回までのふり返り

- ・過去2回の景観ワイワイ広場結果について
- ・山武市の景観課題整理の流れについて

■「山武市の10年後の景観」について

- ・整理された課題について改めて考えてみよう
- ・山武市で「ここが将来こんな景観になったらいいな」について考えてみよう
- ・将来の景観について、「こんな活動をすれば実現しそうだな、こんな活動をしてみたいな」を考えてみよう



ワークショップ（景観パンフレットづくりを題材に）

景観づくりの視点（案） → 「守る」 → 良い景観を将来に伝える
→ 「創る」 → 手を加えて改善する。手を加えた所が良い景観になる。
→ 「つなぐ」 → 身近な所から始める。みんなの取り組みをつなげていく。

1 キャッチフレーズ

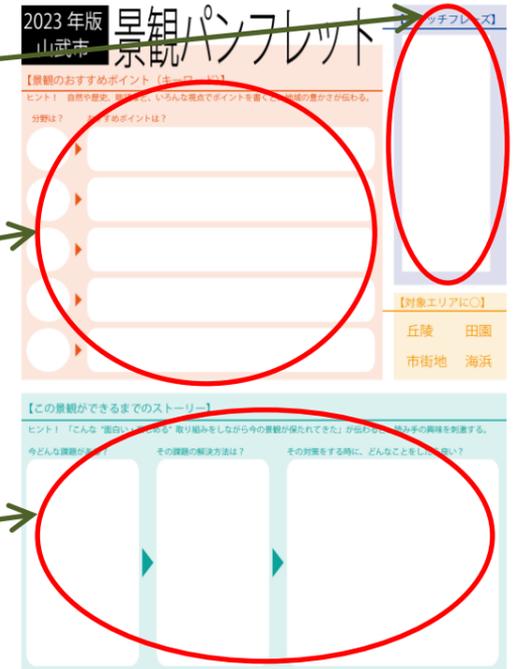
自分が思い描く2023年の景観にキャッチフレーズをつけました。

2 景観おすすめポイント

10年後の2023年の山武市の景観おすすめポイントとして、「将来に残していきたい好きな景観」や「今はあまり良い景観ではないけど、将来はこんな風に良くなったら良いと思う景観」を考えました。

3 景観ストーリー

「今ある良い景観を将来にまで残していくには」や「今ある課題を改善するには」を考えました。



作田川の美化活動について（小幡さんの活動事例紹介）

私は作田川でごみ拾いや堤防の草刈り、花植えを通じて子ども達の通学路を整備することをテーマに活動しています。今年で6年目になりました。個人で20mずつ堤防の草を刈ることを目標にしながら、年に数回、建設業や作田川周辺の事業者の方々にも協力してもらっています。その他にも肥料や花を提供してもらいながら、堤防に植えています。



住民や事業者が協力した活動。



作田川沿いに植えられた花。

このように、自分が日々できる範囲でやっていくことを目標にしており、団体を設立したり、仲間を集めたりはしないようにしていますが、多くの花が一度に集まった時は協力をお願いするようにしています。

この活動をしていて素晴らしいと思うのは、私の活動を見ている方々が、ゴミを捨てなくなっているという現象が起きています。目に見えるものとして、子ども達にもこの活動を見せていくことが大事だと思います。そして10年後、今の子ども達が大人になって、それを真似して、地域を良くしていこうと感じてもらえれば良いと思います。

今回の景観ワイワイ広場について（城西国際大学 福田先生）

本日、皆さまの熱心な話し合いの様子を見まして、山武市に対する強い”想い”や”こだわり”が十分に伝わりました。その想いがあれば、行動が起こせるだろうと思います。これからのまちづくりは、人口減少時代を前提に考えなければなりません。そうした将来を見据えて話をするという意味では、本日のテーマはぴったりだと思います。地域”らしさ”はそれぞれの風土がにじみ出たものですが、その風土は、“風の人（外からやってきた人）”と“土の人（地元の人）”の両方が揃って初めて、できあがるといわれています。本日のように風の人と土の人が想いを一つに意見を出し合い、方向性を探っていくためにも、こうした機会を続けることではないでしょうか。

ワークショップではそれぞれの意見をグループごとに発表していただきました！

発表

1グループ目



<キャッチフレーズ>

- 観光地化していない九十九里のど真ん中、ほっとする街
- 美しい海へ行こう九十九里海
- 山（森林）と海のコラボの市
- 白砂青松・九十九里浜

<出された意見>

将来に残していきたい、良くしていきたい

ハマヒルガオの美しさ／丘陵の雰囲気の良い／海と山の両方がある山武市の魅力／浪切不動院／城跡公園／山武市の空気感の良さ（丘陵のまちなみ、緑の豊かさ、生け垣の手入れ、地域に対する住民の愛情）／住んでいる人とともに育まれてきた歴史 など

こんな取り組みできたら良いのでは

海の良さを体感してもらう／潮干狩りを楽しんでもらう／九十九里の自然の豊かさを知ってもらう／ハマヒルガオの美しさをPR／ゴミ拾いを通じて地域の良さを発信していく／四季を通じて楽しめる花を植える／市内バスを利用した散策ルート／モデルコースによる年配者の健康づくり／山武市のイメージアップ（資産を大切にしていく） など

発表

2グループ目



<キャッチフレーズ>

- （山武市）1600年前武射建国の原風景
- 海までつづく 花と緑のみち 山と海の絆みち 山と海の融合
- 癒される景観づくり
- 山から海へ川でつなぐ桜の花道グリーン、ブルー七彩のクリアな街
- 水循環調整
- 海まで続く花と桜の遊歩道（木戸川、作田川、境川）

<出された意見>

こんな取り組みできたら良いのでは

パンフレット、教育、掲示板などを通じた1600年前は海だった原風景の周知／目で見る景観と心の景観両方を楽しんでもらう景観づくり／作田川の桜並木の復活／作田川・境川・木戸川を対象とした新しい景観づくり／かつて桜並木のあった作田川の景観づくり／食虫植物園を中心に水循環の保全活動／名所を巡るバスツアーでのコースづくり／桜情報など季節の細かな情報を発信する広報無線による市民の意識啓発活動／次世代を引き継ぐ若手呼び込む仕掛けづくり など

発表

3グループ目



<キャッチフレーズ>

- 美しい街山武市をめざす
- 歴史、古代文化
- 九十九里浜へ風力発電
10年後再生可能エネルギー自給率日本一の町
水の恵みを体感できる街

<出された意見>

将来に残していきたい、良くしていきたい

夜の星空／横の生け垣の街路風景／山林から海まで水がめぐる山武市 など
こんな取り組みできたら良いのでは

本行寺の史跡や丘陵地にある古墳群など文化遺産の発掘／歴史・文化について知ってもらうイベント企画／衰退する日向の森の山武杉の間伐・間伐材の再利用／風力発電、潮力発電などの地域エネルギーの活用／太陽光発電などによる自給エネルギーの活用／作田川の沿いの遊歩道に水車による発電を利用した街灯の取付け／子供を含めた住民投票 など

発表

4グループ目



<キャッチフレーズ>

- 自然の里 山武
- 自然のおもてなし観光を産業の中心にする
- ①未来の山武チャイルドの幸せのために
②訪れる人も住む人も自慢の山武
- 持続可能社会のモデル山武
- 九十九里浜を中心に観光地、店を充実させPRする

<出された意見>

こんな取り組みできたら良いのでは

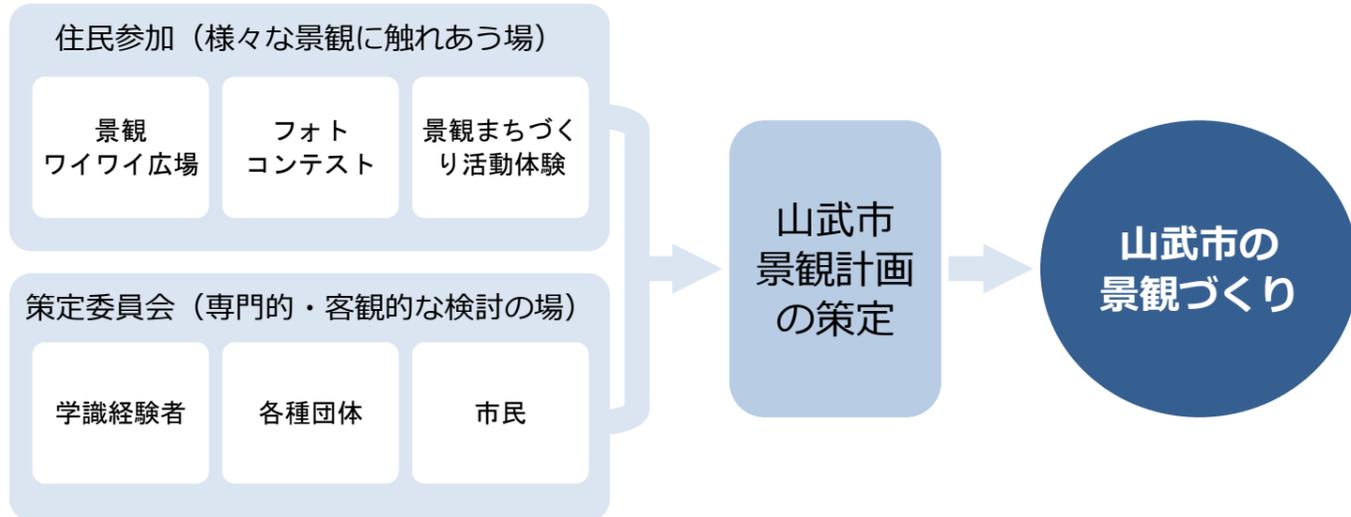
ユニークなお坊さんのいるお寺でユニークな学習／高品質の山武杉を地域ブランドとして世界に発信／食虫植物群落までの移動手段の確保&年1回の公開講座&環境負荷の低減（ゴミ捨て等）&山武杉を使った柵作り／山武市によるメディア活動／山武杉に関する人材の育成（林業の学校）／駅の顔づくり（地元の素材を使った駅舎）／山武市に人が来るような施設やサービスの充実（環境学校など）／日向の森の森林資源を活用した自然林のキャンプ場&海と山の観光の連結／成東駅、日向駅、松尾駅の駅前再開発／山武杉のさらなる活用／砂防林の再生 など

景観計画の策定に向けて

山武市では地域の豊かな景観（自然や歴史、眺めなど）を将来に渡って大切にしていくために、平成 25 年度から平成 26 年度にかけて、景観法に基づく「景観計画」を策定します。

その際、景観ワイワイ広場の他に、さんむの魅力フォトコンテストや景観まちづくり活動体験の開催を通じて、地域に暮らす住民の皆さんにも、景観の魅力に触れていただきたいと思います。

また、景観づくりの進め方を検討する庁内検討会議の開催や、大学の先生をはじめとした各委員から、専門的・客観的な意見をいただく場として、策定委員会を設置し、皆様からいただいた意見の反映、景観計画の検討を進めています。



第 1 回庁内検討会議を開催しました。



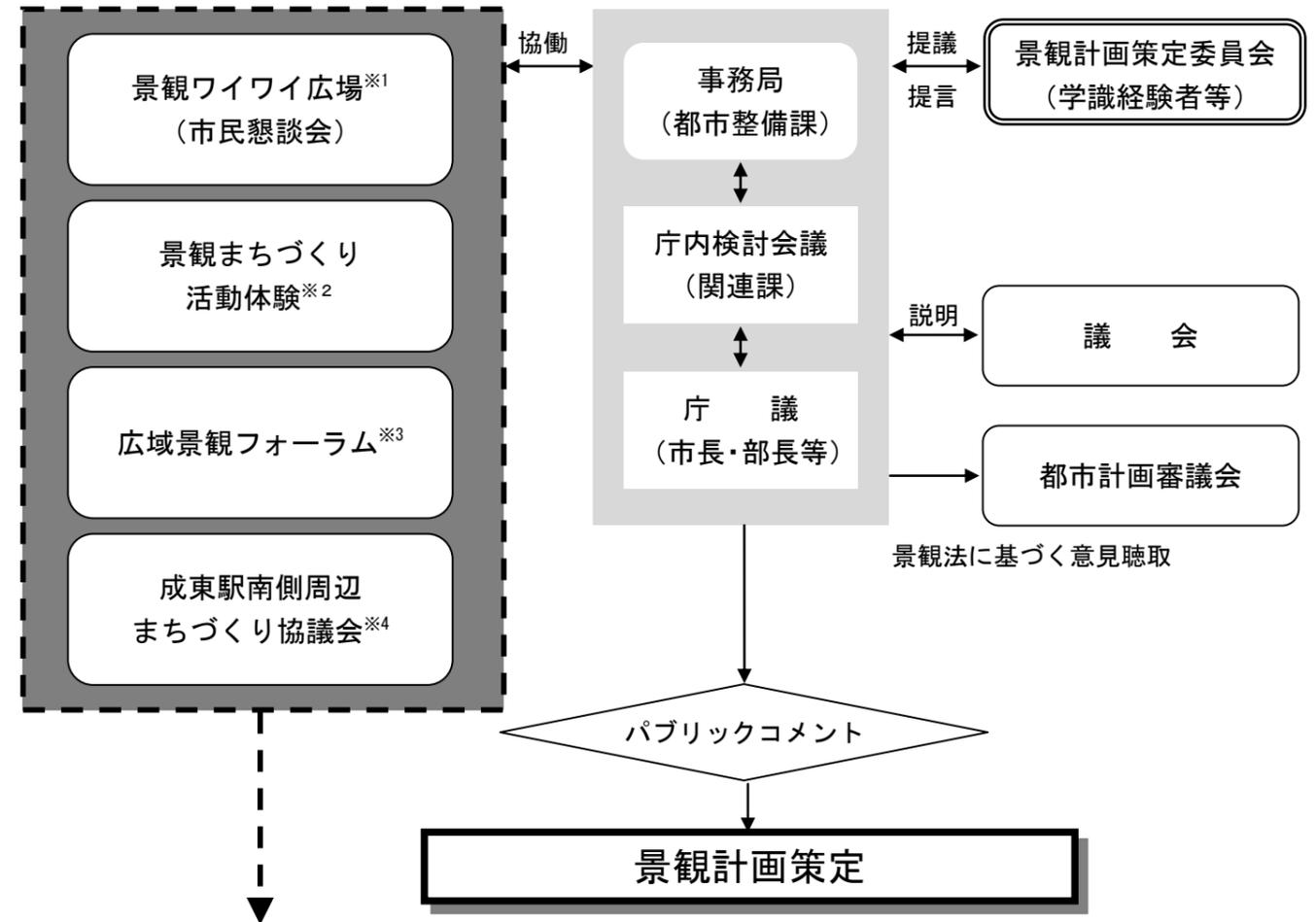
【日 時】平成 25 年 7 月 2 日（火）
13 時 30 分～14 時 45 分
【場 所】山武市役所新館第 5 会議室
【主な内容】
・ 景観法、景観計画について
・ 山武市景観計画について（策定の進め方、考え方）
・ 景観計画と各課との連携について

第 1 回景観計画策定委員会を開催しました。

【日 時】平成 25 年 7 月 17 日（水）
14 時 00 分～16 時 00 分
【場 所】山武市役所新館第 5 会議室
【主な内容】
・ 山武市景観計画策定の目的及び進め方について
・ 各委員の考える景観、現況及び課題



山武市景観計画策定の進め方



※1 景観ワイワイ広場（景観まちづくり市民懇談会）

・ 市民を中心に山武市の景観について自由に意見交換を行う場として、景観関連活動への市民の方の参加方を検討することを主な目的としています。

※2 景観まちづくり活動体験

・ 山武市の景観について、広く市民の方に考えてもらうきっかけとして開催します。

※3 広域景観フォーラム

・ 行政区域をまたぐ広域的な景観（九十九里海岸）のあり方について、千葉県や近隣市町を含め、広く意見交換を行う場として開催します。

※4 成東駅南側周辺まちづくり協議会

・ 市民主体による協議会です。成東駅南側の駅前広場及び駅前線の整備に併せて、快適と感じられる駅周辺の街並みとなるように検討していくことを目的に協議会が設置され、成東駅南側のまちづくりについて話し合っています。

今後の予定につきましては、市 HP、広報などでお知らせいたします。皆様のご参加をお待ちしております。
（問い合わせ先：山武市都市建設部都市整備課 電話：0475-80-1191）